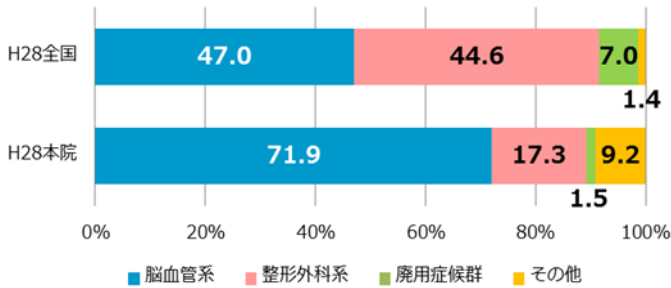
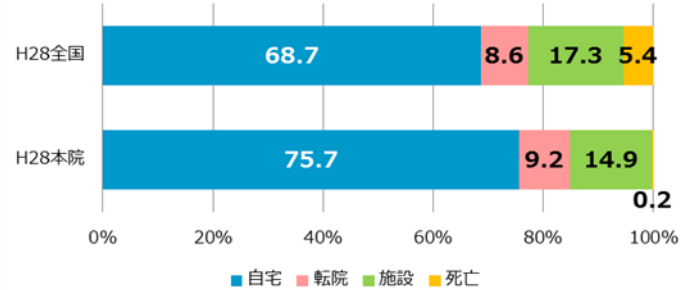


【平成28年度】回復期リハビリテーション病棟に関する実績と全国比較

原因疾患割合

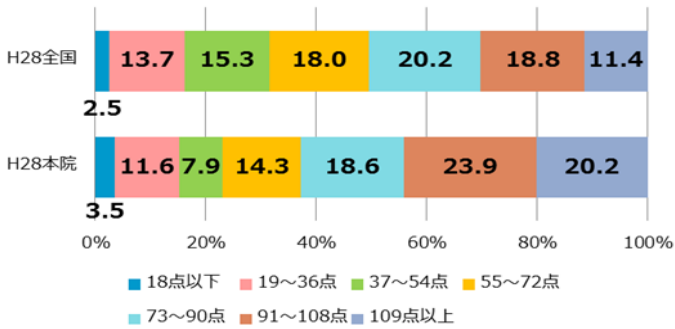


退院経路

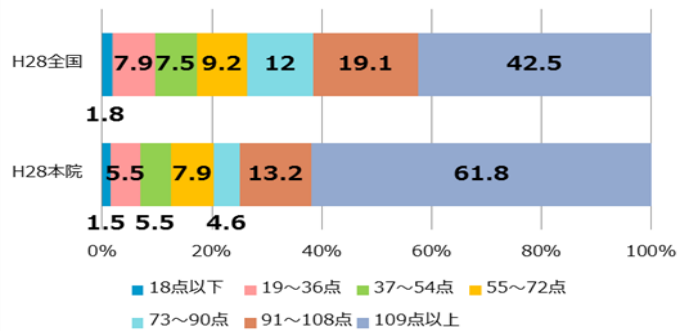


F I M (機能的自立度評価)

入院時



退院時



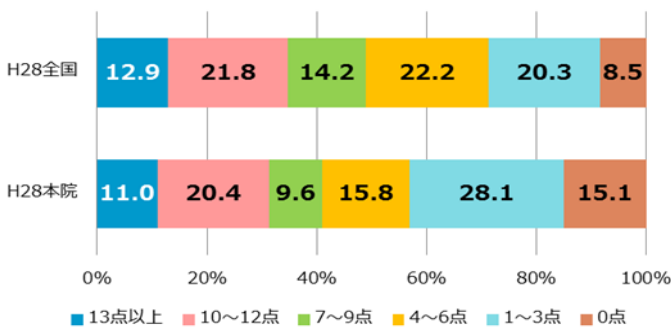
機能的自立度評価 (F I M ; Functional Independence Measure) とは

この評価は、主に介護量を測定するもので食事や整容などの「運動ADL」13項目と、社会的交流や記憶などの「認知ADL」5項目を、介護量に応じて7段階、126点満点で評価します。米国での研究において信頼性と妥当性が検証されており、我が国でも医療や介護の分野などで幅広く活用されています。

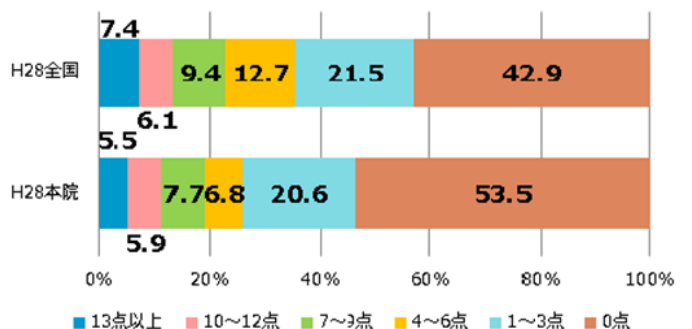
*ADL (日常生活動作 : activities of daily living) / 食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動のこと。

日常生活機能評価

入院時



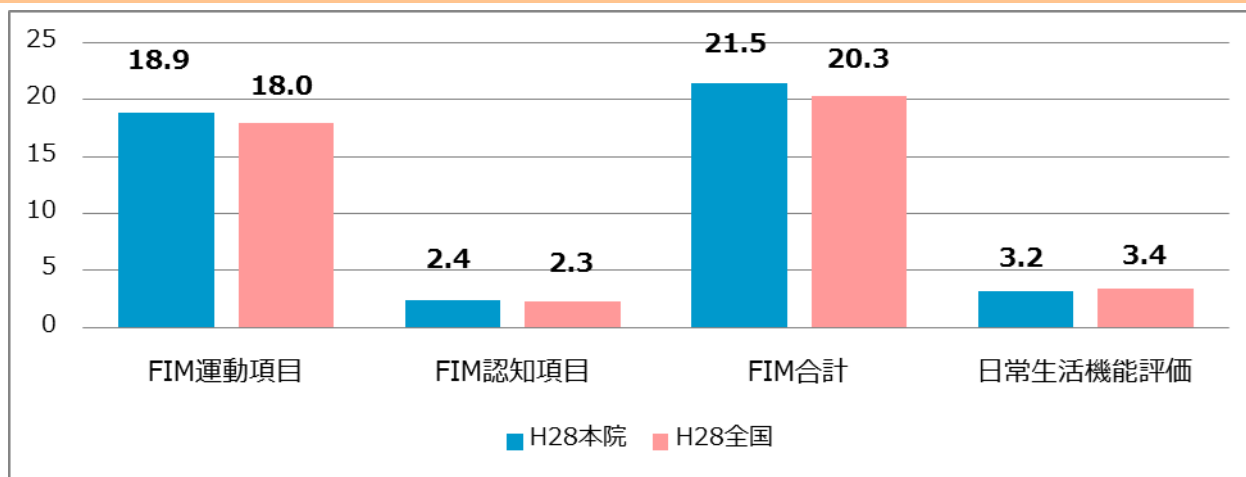
退院時



日常生活機能評価とは

この評価方法は、入院患者の日常生活自立度を測定するもので、起き上がりや移乗・食事摂取などの13項目を「できる」・「できない」・「一部介助があればできる」などの状況で評価し点数をつけます。合計点数の最大値は19点で、点数が低いほうが「自立度が高い」と評価されます。

ADL（日常生活動作）利得の平均値



まとめ

- ◆ 平成28年度は、FIMや日常生活機能評価、自宅復帰率において全国平均よりも良好な成績となりました。
- ◆ 今後も専門職が連携を深め、よい結果を残せるよう精進いたします。